

2023 年 10 月

## フィリピン ALLC 英語研修参加学生募集のお知らせ

新潟大学では、新潟大学個性化科目（自由主題）「フィリピン ALLC 英語研修（開講番号 230G3975）」として、約 5 週間のショートプログラムを下記のとおり実施します。

本プログラムは、受注型企画旅行として、(株) JTB 新潟支店にて研修手続きの代行と旅行手配を行います。

## 1. 本プログラムの目的

- (1) 英語研修 (2) 異文化体験

## 2. 応募資格

- (1) 原則として、2023 年 10 月現在からプログラム実施期間を通して、本学の学部又は大学院の正規課程に在学していること  
(2) 心身ともに海外での研修生活に耐えられる健康状態であること  
※過去に実施された本プログラムに参加した学生は、原則対象外とします。

## 3. 募集人数

10 名程度（最少催行人数：6 名）

※応募者数が最少催行人数に達しない場合は、研修を中止する可能性があります。

## 4. 日程

- (1) 日程：2024 年 2 月 17 日（土）出発，3 月 23 日（土）帰国（36 日間）※予定

- (2) 研修内容：

○集中英語研修（2 月 19 日(月)～3 月 22 日(金)）

フィリピン・マニラ市近郊のケソン市にあるアテネオ・デ・マニラ大学の言語学習センター（ALLC）で、Intensive English Language Program (IELP) コースの授業を受講します。授業は、「読む」「書く」「聞く」「話す」の 4 技能の強化・向上を目的としたもので、「初中級」「中級」「中上級」のレベル別に分けられたクラス（1 クラス 15 名程度）において、他国からの参加者と一緒に学びます。一日 6 時間・週 4 日の授業となります。

## 5. 研修先

アテネオ・デ・マニラ大学 アテネオ言語学習センター（The Ateneo Language Learning Center (ALLC)）

## 6. 滞在先

アテネオ・デ・マニラ大学に隣接する宿泊施設（My Place）（予定）。原則，4 人部屋を利用します。

## 7. 参加費用等

プログラムの参加費用は、43 万円程度を見込んでいます。これには、航空券などの旅行代金、英語研修授業料、宿泊費、フィリピン・マニラ空港から宿泊施設間の往復送迎費などが含まれます（ただし、為替レート等の影響により変動する場合があります）。

参加費用には、有効な旅券（パスポート）を持たない場合の旅券申請費用、査証（ビザ）申請費用、海外旅行傷害保険料（加入必須）、危機管理サービス加入費用（加入必須）、出発・帰着空港と自宅間の交通費、フィリピン特別就学許可証（Special Study Permit (SSP)、4,740 ペソ：約 12,500 円（現在のレート 1PHP=2.62 円））取得費用、現地での食費、お小遣いは含まれません。

## 8. 渡航手続き

渡航に際しては、フィリピンの短期滞在ビザ（9A）を取得する必要があります。申請は、駐日フィリ

ピン大使館（東京）に申請日時を予約の上、12月中を目途に本人が窓口で必要書類を提出します（申請受付は平日のみ）。

<参考>本人が直接窓口に行けない場合、郵送での提出も可能ですが、公証人合同役場で提出書類の認証（有料）が必要となります。また、ビザ申請に係るすべての手続きを JTB に代行依頼することができますが、代行手数料のほか、本人の実印登録が必要となります。

おおよその費用は以下の通りです。

- 自身で申請する場合（対面）：4,720 円＋フィリピン領事館までの交通費
- 自身で申請する場合（郵送）：16,220 円＋送料
- JTB に代行申請依頼する場合：37,120 円＋送料
- ビザ申請は JTB に代行するが自身で公証役場認証をする場合：31,620 円＋送料

ビザ申請手続きの詳細については、以下ウェブサイトを参照ください。また、参加者には参加決定後のオリエンテーションで詳しくご説明します。

- フィリピン共和国大使館：

<https://tokyo.philembassy.net/ja/consular-section/services/visa/visa-application-process/>

- 日本公証人連合会：[www.koshonin.gr.jp](http://www.koshonin.gr.jp)

## 9. 奨学金

一定の資格及び要件（別紙参照）を満たす学生は、（独）日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）による給付型奨学金 14 万円の申請対象となります。この奨学金は渡航中に支給対象学生の口座へ振り込まれます（渡航前には支給されません）。

奨学金支給対象者は、本プログラム参加決定後、1 月中旬頃までに資格及び要件の確認を経て決定します。要件の一つである家計基準の判定に際し、家計支持者（原則父母）の収入・所得（給与所得者の場合は源泉徴収票の写し、給与所得者以外の場合は確定申告書の写し）の証明書類を提出していただきます。支給対象者となった学生には、JASSO の定める報告書等の提出が義務付けられています（提出期限厳守のこと）。

- 奨学金概要「（独）日本学生支援機構（JASSO）2023 年度海外留学支援制度（協定派遣）奨学金について」ダウンロード先：<https://www.niigata-u.ac.jp/wp-content/uploads/2023/03/gaiyo-2.pdf>

※一定の家計基準を満たす場合、奨学金 14 万円とは別に、渡航支援金 16 万円の申請対象となります。詳しくは上記資料を参照ください。

## 10. プログラムの参加者募集説明会

本プログラムの参加者募集説明会を下記の日程で行います。本プログラムへの応募を検討する学生は、いずれかの日程に必ず参加してください。両日とも同じ内容です。

<1 回目（オンライン）>2023 年 10 月 18 日（水）12：00～12：45 Zoom による実施（Zoom 情報は学務情報システムにて通知します）

<2 回目（対面）>2023 年 10 月 24 日（火）16：30～17：30 五十嵐キャンパス 総合教育研究棟 B355

## 11. 応募にあたっての注意事項

応募は、下記事項について必ず承諾の上で行ってください。

### (1) 履修登録

参加決定後に学務情報システムで履修登録を行います。手続きは留学交流推進課にて行いますので、参加学生による履修登録は不要です。学部 4 年生については本プログラムの事後研修の前に卒業となることから、履修登録は行わず、単位は認定されません。ただし、課題の提出や事前・事後研修の参加は他参加者同様に必須となります。

## (2) 事前講義・オリエンテーション・事後研修

参加が決定した学生に対しては、事前講義・オリエンテーション、および帰国後に事後研修を行いますので、必ずすべてに出席してください。**第1回目のオリエンテーションは、11月22日（水）昼休みに Zoom にて実施予定です。**本研修は原則、引率者なし（現地空港送迎、現地ガイドの案内によるマニラ市内見学あり）で実施する予定ですので、各オリエンテーション等でしっかりと情報収集、準備の上、研修に参加してください。

オリエンテーション等では旅行上の諸注意を含む重要な連絡を行いますので、やむを得ない事情がある場合を除き必ず出席のうえ、提出すべき書類等の期限を厳守してください。オリエンテーション等の無断欠席や提出書類の遅延等が続いた場合は、参加を取りやめていただくことがあります。

## (3) VELC テスト

新潟大学が実施する VELC（ベルク）テスト（リスニング・リーディング各 60 問から成るマークシート方式のテスト）を、セミナー前後の 2 回、指定された日に受験することが参加の条件となります（1 月および 3 月中に実施予定。費用 900 円/回は自己負担となります）。本テストは、英語研修の教育効果と参加者の努力の成果を測定するためのものです。本テストを受験しない場合は単位認定の対象となりませんのでご注意ください。

## (4) レポートの提出

レポート課題の提出とその評価において条件を満たした学生には、4 単位が付与されます。

## (5) その他

- ・ 既往症などがある場合には必ず申し出、研修申込の可否については医師の診断と判断に従ってください（参加申込書に記載のとおり、「海外渡航前健康状況申告書」にご回答いただきます）。
- ・ 研修の途中参加（遅れて渡航）及び研修期間中の日本への帰国は認められません（親族の病気などの緊急事態は除きます）。
- ・ 英語研修にはすべて参加してください（病気・ケガの場合を除きます）。
- ・ 渡航期間中は、本学が指定する海外旅行傷害保険及び危機管理サービスへの加入が必須となります。詳細は、参加決定後にお知らせします。

## 12. 応募方法

本プログラムへの参加を希望する学生は、以下 (1)、(2) の応募書類を、**2023 年 11 月 7 日（火）正午までに**留学交流推進課へ提出してください。

## &lt;応募書類&gt;

- (1) フィリピン ALLC 英語研修参加申込書（様式 1）...提出方法はメール送付、窓口での提出のどちらでも構いません。
- (2) 2023 年度第 2 学期のスケジュール（様式 2、エクセル様式）...電子媒体（エクセルファイル）でメールにて提出してください。
  - メール宛先：[studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp)
  - 様式 1・2 ダウンロード先：  
<http://www.niigata-u.ac.jp/campus/international/study-abroad/short-term/>
  - 提出の際は件名を「(氏名) フィリピン ALLC 英語研修応募」としてください。
  - 提出するデータにはパスワードを設定してください。設定するパスワードは募集説明会でお伝えします。



## 13. 参加者の決定

応募書類と面接（11 月 9 日（木）、10 日（金）に実施予定）により参加者を決定します。面接の日時及び選考の結果などは、電子メールにて学務情報システムアカウントにメール通知します。

参加が決まった学生には、下記の書類を留学交流推進課に提出いただきます。提出期限等は別途メールでお知らせします。

#### ＜提出書類＞

- ・ 誓約書（保護者等保証人のサインが必要です。代筆はできません。）
  - ・ 個人情報の使用に係る承諾書（研修終了後に提出いただく報告書等を、広報誌や大学ホームページへ掲載することがあります。）
- ※上記書類については、参加が決まった後に詳細を説明します。
- ※上記のほか、別途海外渡航にかかる手続きがあります。

#### 14. 参加決定後の辞退について

参加辞退は、他の応募学生の留学機会を失することにつながるため、原則として認められません。やむを得ない事情により辞退が認められた場合も、キャンセル料がかかる可能性があります。また、日本国内の状況及び派遣先の国・地域の状況を勘案し安全なプログラム実施が困難であると考えられる場合や、研修先校が研修提供を中止した場合には、本学がプログラムの中止・中断を決定することがあります。その際に発生した一切の費用（キャンセル料や途中帰国する場合の旅費等）は参加学生の負担となりますので予めご了承ください。

#### 15. パスポートの取得について

有効なパスポートを持たない人は、参加決定後、12月8日（金）までに取得完了できるよう下記 URL を参考に取得申請を行ってください。

- 1) 新潟市に住民登録がある場合、及び新潟県外に住民登録があり新潟市内に住んでいる場合  
＜新潟市 HP パスポートについて＞

<http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/todokede/passport/index.html>

- 2) 新潟県内の新潟市を除く市町村に住民登録がある場合、新潟県パスポートセンターで申請することができます。

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kokusai/1203872491388.html>

#### 16. アンケートについて

研修の前後にアンケートを実施する場合がありますので、ご協力ください。今後の新潟大学の短期留学プログラムの企画・運営などに役立てたり、本人の了承を得た上で、新潟大学ホームページに掲載したりする場合があります。

#### 17. 本プログラムについての問い合わせ先

プログラム担当教員：人文社会・教育科学系（人文） 准教授 市橋 孝道  
学務部留学交流推進課（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 D 棟 3 階）派遣留学係  
E メール [studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp](mailto:studyabroad@adm.niigata-u.ac.jp) 電話 025-262-7631